

群馬県立太田高等特別支援学校 学校評価一覽表(令和8年度)

(様式)

評価対象	評価項目	具体的数値項目	方 策	点検・評価		達成状況の分析	学校関係者評価	次年度の課題
				白紙評価	評価アンケート等			
I 幼児児童生徒の地域に於ける生活の状況について	1 保護者、地域、関係機関との関係について、具体的に伝えていますか。	①学校公開を年間4日実施し、来校者の90%以上が満足している。	教師企画 -学校公開を7月と10月に2日間ずつ設定し、授業の様子や学習の成果を紹介する。 -学校公開は、保護者及び実習先等関係者、本校を志望する中学生とその保護者にも案内し、本校の様子を広く知ってもらう機会とする。					
		②Webページや学校からのたり等て情報発信を行い、保護者の90%以上が満足している。	情報管理 -Webページや学年通信等で生徒の学習活動を発信する。その際、生徒の様子を的確に伝えられるよう、生徒の活動写真を多く掲載する。 -Webページにおける活動紹介について、学年通信等で保護者に告知する。					
II 地域の特別支援に関するセンターの役割を果たしていますか。	2 保護者、地域、関係機関との関係について、具体的に伝えていますか。	③学校は生徒が地域で生活するために必要な力を育成するために、個に応じた適切な指導・支援を行い、保護者の90%以上が満足している。	学習指導 -必要に応じて、保護者面談及び支援会議等を実施し、その記録を関係者と共有し、支援指導に繋げる。					
		④交流及び共同学習について、年1回以上実施し、保護者や関係機関の90%以上が満足している。	交流教育 -学校間や地域の方との交流を実施し、活動の様子をWebページや学年通信、保護者会、学校評議員会等で知らせる。					
III 幼児児童生徒一人一人の発達に合わせた適切な指導を行っていますか。	3 個々の幼児児童生徒の発達について、指導に努めていますか。	⑤地域の高等学校等の求めに応じて相談・支援等を100%実施する。	コーディネーター -相談依頼内容に応じて日程調整を速やかに行う。 -各高等学校のニーズに沿ったアドバイスができるように、学校風土なども理解しながら柔軟な姿勢で相談に当たり、実践可能な支援方法をアドバイスする。					
		⑥学校参観日・相談日を中心に本校への来校者を積極的に受け入れ、来校者の90%以上が満足している。	コーディネーター -地域の中学校・特別支援学校に対して、参観日や相談日の開催について通知する。 -特に中学3年生とその保護者においては、開催日以外にも、必要に応じて相談日を臨時に設けて、いねいに対応する。					
IV 健康や安全の確保に努めていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	⑦「個別の指導計画」の内容について保護者の90%以上が満足している。	学習指導 -保護者面談等で「個別の指導計画」における具体的な目標や予定等について話し合い、共通理解を図る。					
		⑧運営委員会、職員会議、学年会等において生徒の情報交換を毎回実施し、生徒の些細な変化に対しても全職員で情報共有をしている。	生活指導 -いじめの早期発見・早期対応や自殺防止の観点から、職員一人一人の情報収集力、情報伝達力を高め、情報を有効に活用していくための校内研修等を充実させる。					
V 将来の学び方に基づいた指導を行っていますか。	5 指導内容の確実な習得を図る授業が行われていますか。	⑨生活習慣の定着を図るための家庭と学校が連携した取組に保護者の80%以上が満足している。	生活指導 -「あたりまえだけどこのすまゐ」を活用し、月初めに月別重点項目を配布し、保護者に周知する。またSNSを安全に使うための情報モラル講座やいじめ防止フォーラムの情報等を保護者に伝え、共通理解を図る。					
		⑩学校いじめ防止基本方針等に基づいた本校の取組に対して、保護者の90%以上が満足している。	生活指導 -本校のいじめ防止対策の取組を周知するために、保護者に取組みを配付し、ホームページに掲載する。また、いじめ防止等の取組アンケートを実施し、保護者からの貴重な意見を反映し、より一層のいじめ防止に努める。					
VI 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑪授業改善のため、校内研修を年間7回以上、研究授業・授業研究会を年間2回以上実施している。	研修推進 -研修係が中心となり、職員にとって有意義な校内研修になるよう計画・実施する。 -1人2回以上他の教諭の授業を参観し、参観後は、授業者と意見交換をする。					
		⑫健康診断時に疾病疑いがあり、受診を勧められた生徒に関して、保護者及び担任に、受診率(治療率)及び個別の受診状況を年3回以上報告し、保護者面談等で受診を勧めている。	保健指導 -毎日の健康観察及び衛生検査を実施して、生徒の健康状態の把握と管理、生活習慣の確立に努める。特に学校生活で配慮が必要な生徒は、医師の指導に基づき、保護者と連携して適切な健康管理に努める。					
VII 健康や安全の確保に努めていますか。	7 危機管理研修が確立され、実践への導入ができていますか。	⑬危機管理マニュアルをもとに、緊急時の対応策(避難訓練)を年3回以上実施している。	安全対策 -危機管理マニュアルの見直し、改善を図るとともに、避難訓練や職員研修の実施を年間計画の中に明確に位置付ける。					
		⑭危機管理に関する職員研修を年3回以上実施している。	安全対策 -普通救命講習(AEDの扱いを含む)や不審者対応等の職員研修を関係機関と連携、協力して行う。 -危険箇所や危険状況が確認された際には、初期対応を速く行う。					
VIII 将来の学び方に基づいた指導を行っていますか。	8 ネット教育の観点から、指導内容の充実を図るための指導を行っていますか。	⑮進路学習について、進路講演会等を年5回以上実施し、保護者の90%以上が満足している。	進路対策 -進路講演会や生徒が体験的活動ができる機会を、年5回以上実施する。 -学年主任会議で学年間の情報交換を適切に行う。					
		⑯進路先や関係機関との連携について、保護者の90%以上が満足している。	進路対策 -支援協議会に進路指導主事が出席し、地域の障害福祉サービス事業所等と情報交換ができるようにする。関係機関との連携を深め、電話や電子メール、ファックス等にて情報収集に努める。 -ネットワーク、労働政策課、障害者就業・生活支援センター(かーくぼーど)と共催で企業向けの学校見学会を実施する。					